



榊一市村酒造場 取締役 セーラ・マリ・カミングス 氏

8月8日 榊一市村酒造場にて、  
榊一市村酒造場 取締役 セーラ・マリ・カミングス氏と対談が行われた。  
縁あってアメリカから長野県小布施に移り住み、老舗を活気あるものに生まれ変わらせた  
女史の日本独自の素晴らしい文化、伝統を未来に受け継いでいかなければならないという  
意志は近頃の日本人よりも強い。同じ見解を持つ鈴木会長と意気投合。小布施にある榊一  
のテラスで対談はさわやかに進んだ。⇒ 詳細情報 <http://yeg.jp/event/20030808/index.html>

#### セーラ・マリ・カミングス

大学在学中に日本に留学、卒業後再び日本を訪れ、長野県で就職。1994年に榊一市村酒造場に入社。  
97年に同社の再構築に取り組み、翌年取締役に就任。国際北斎会議を小布施での開催「桶仕込み酒」の復活、  
「小布施シヨンの開催など、さまざまな文化事業を手がけ、成功に導いている。



鳥取県知事 片山 善博 氏

9月10日 米子市米子全日空ホテルにて、鳥取県知事 片山善博氏との対談  
が行われた。11月のYEG全国大会 米子大会の前に実現したこの対談では、  
精力的に改革に邁進するふたりのリーダーの熱い思いが語り合われた。鈴木会  
長の「環日本海交流」を大会コンセプトとした説明はおおいに知事の共感を得  
た。話は食や教育、就業問題にまで及び、現行の行政の矛盾や、逆転の発想に  
ついて、たいへん興味深い話が繰り広げられた。

⇒ 詳細情報 <http://yeg.jp/event/20030910/taidan01.html>

#### 片山 善博 (かたやま よしひろ)

1951年、岡山県生まれ。東大法学部を卒業後、自治省（現総務省）へ入省。大臣秘書官、鳥取県総務部長などを経て、  
99年4月、同県知事に。現在2期目。政治家らの「ロリキ」内容の文書化を制度化するなど、徹底した情報公開を進めている。  
現在、行政はもちろん、あらゆる分野から、最も注目されている県知事である。



ジャーナリスト 筑紫 哲也 氏

11月8日米子市米子全日空ホテルにて、ジャーナリストの筑紫哲也氏との対談が行われた。  
非常にハードなスケジュールの中、東京から我が全国大会に來会された氏は、記念講演  
では片山知事と対談。全国から集まったメンバーの注目を集めた。  
記念講演終了後、鈴木会長との対談では、組織論として「横のつながりの重要性」、「やる気  
のあるものが積極的にトライできるルールづくりの必要性」、「町おこしの具体的な情報」、そして  
「もっとメディアを活用して外に発信することの勧め」など、これからのYEGの活動にとって  
示唆に富む話が語られた。⇒ 詳細情報 <http://yeg.jp/event/20031108/taidan01.html>

#### 筑紫 哲也 (ちくしてつや)

1935年大分県生まれ。早稲田大学政経学部卒業後、朝日新聞社に入社。「朝日ジャーナル」編集長を経て朝日新聞編集委員となる。1988  
年から1989年までニューヨークに駐在。1989年よりTBSテレビ系「筑紫哲也ニュース23」のメインキャスターを務め現在に至る。1999年には  
国際エミー賞優秀賞を受賞。テレビ・書籍などのメディア全般に関し、多岐にわたり活躍している。